

保護者 様

鶴ヶ島市立南中学校
校長 保泉 清之

「性教育講演会」の開催について（ご案内）

春寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本校では、性教育の一環として中学校3年生の生徒を対象に性教育講演会を実施いたします。中学生・高校生を取り巻く社会環境は、ゆがんだ性情報が氾濫しており、誤った知識や考えから無用な不安や悩みを抱えてしまったり、無責任な行動に走ったりすることが心配されます。

そこで、ご家庭と協力して、性教育を進めていきたいと考えています。ぜひ、保護者の皆様にもご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

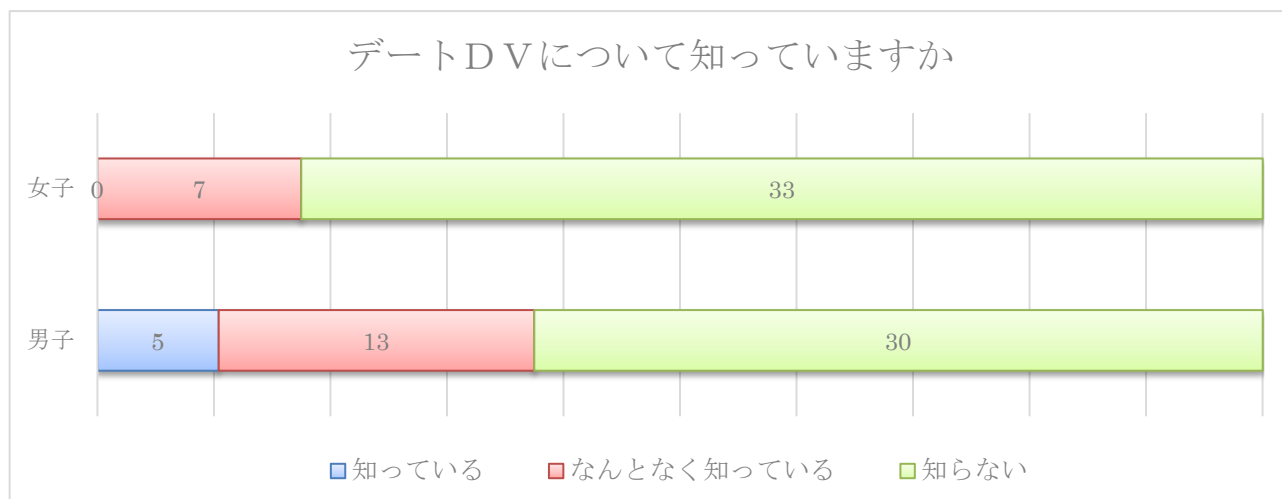
- 1 日 時 平成30年3月12日（月） 10:50～12:20
- 2 場 所 体育館
- 3 内 容 「デートDV ～お互いを大切にする関係とは～」
 - ・デートDVの要因及び実態
 - ・性感染症のリスク
 - ・SNSにおけるトラブル
 - ・お互いを尊重し合える関係を築くために必要なこと 等

講師：SANE（性暴力被害者支援看護師）
大内 真沙美 氏

- 4 その他 (1) スリッパをご持参ください。
(2) 自家用車での来校はご遠慮ください。
(3) 3年生が対象となりますが、1・2年生の保護者の方もぜひご参加ください。

「性教育」というと、家庭では取り組みにくい、まだ必要ないと思っている保護者の方も多いのではないでしょうか。家庭の役割としては、子どもが性のトラブルに巻き込まれたときに、相談しやすい雰囲気を作っておくことが大切です。講演会を一緒に聞くことで、親子で性について必要な話ができるようになります。また、子どもに質問されたときにごまかしたり、逃げたりすることは「性に関すること」は恥ずかしいもの、悪いものという印象付けをしてしまいます。生=性と言われます。正面から向き合うチャンスです。予防法や対処法をお子さんと一緒に学びませんか。

第3学年 性の学習 アンケート



デートDVとはどんなことだと思いますか。(事前)

3年1組 男子

- ・デートで暴力をする (4人) ・分からない (4人)
- ・デート先で片方が片方を襲う (2人) ・デートをすること ・悪いこと
- ・嫌がる行為をすること ・男子が女子に対し、一方的に乱暴すること ・謎
- ・忘れた

3年2組 男子

- ・わからない (4人) ・デート=日付 (2人) ・酷いこと ・暴力
- ・デートでドメスティックバイオレンスをする
- ・デートドメスティックバイオレンスの略
- ・相手のことが好きだが、行き過ぎた感情で起こってしまう

3年3組 男子

- ・知らない (5人) ・よくないこと (3人) ・おごらせる ・さぎ
- ・デートディスプレイビデ…? (分かりません) ・デートでDV ・興味ない
- ・デート中に怒る ・デートして殴る

3年1組 女子

- ・相手が嫌がることをすること (3人) ・嫌だと言っているのにしつこいこと (2人)
- ・デートするときに暴力をすること (2人) ・暴力 (2人) ・悪いこと
- ・デート中にDVすること ・よくわかりません

3年2組 女子

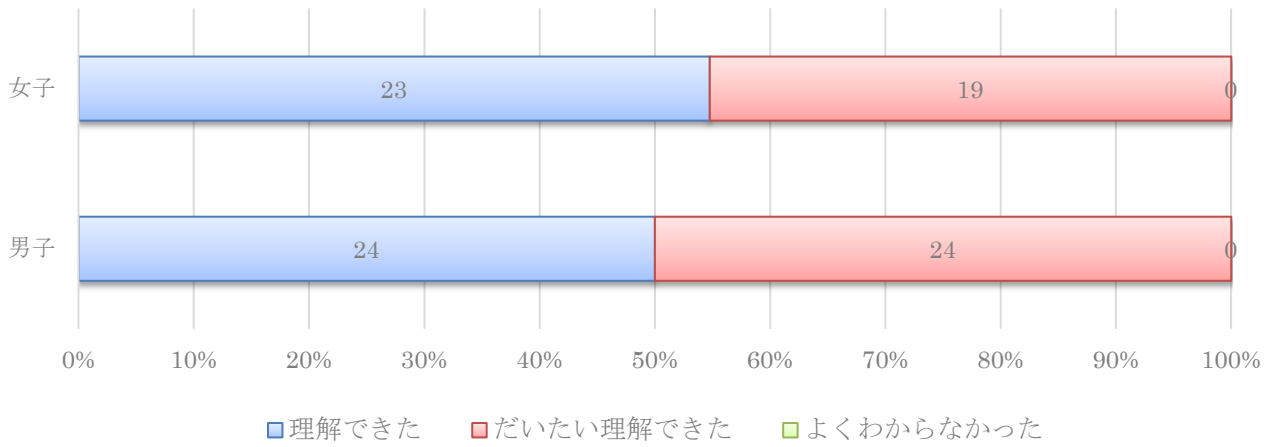
- ・暴力をふるうこと。悪口を言うこと ・デートのときに暴力をすること
- ・悪いこと (2人) ・よくないこと ・デートでDVされる
- ・わからない (3人)

3年3組 女子

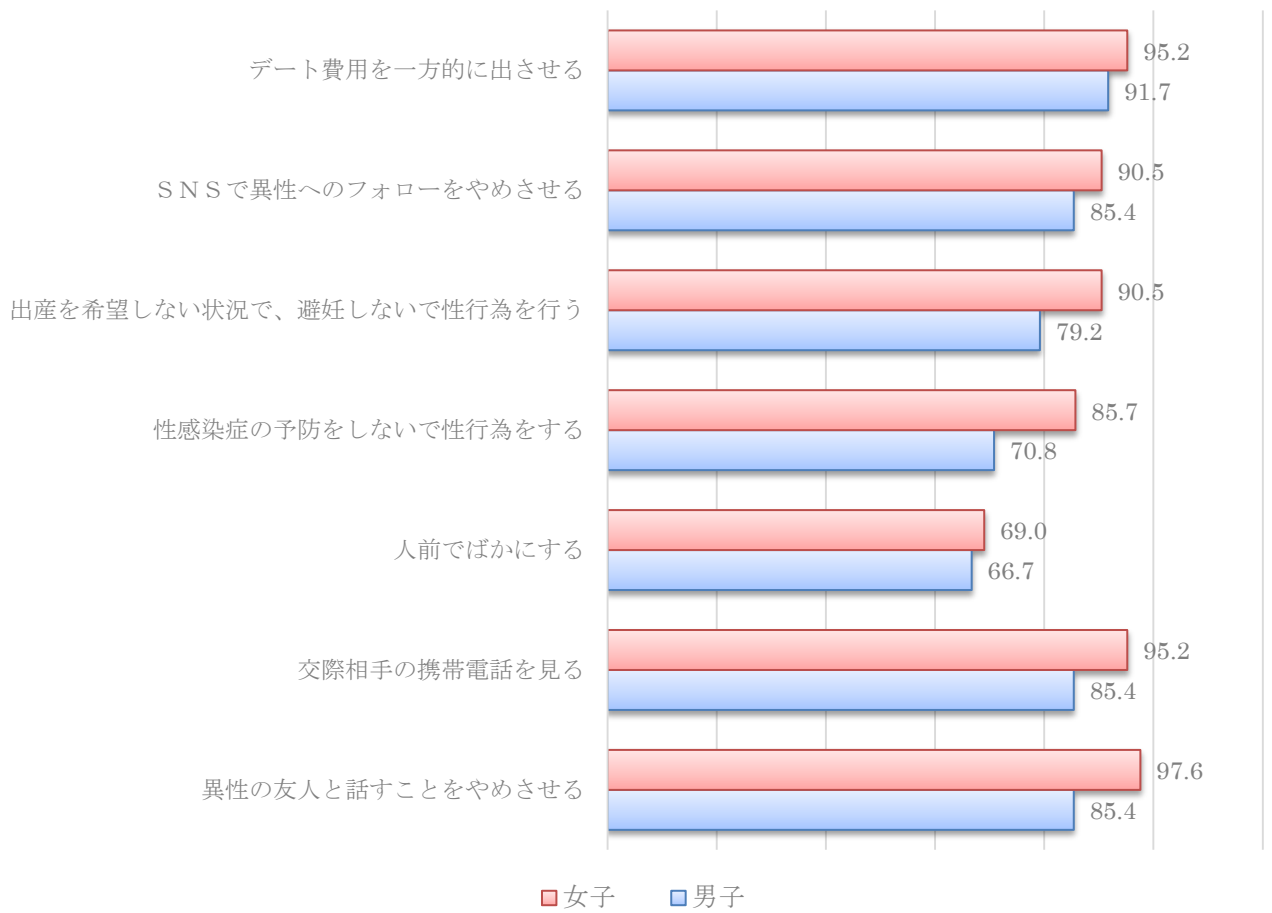
- ・わからない (4人) ・DVのデート ・デートしてDVする
- ・デート中の暴力 ・無理やりデートする ・暴力
- ・男女交際の中で、暴力行為などのトラブルが発生すること

事後

デートDVについて理解できましたか

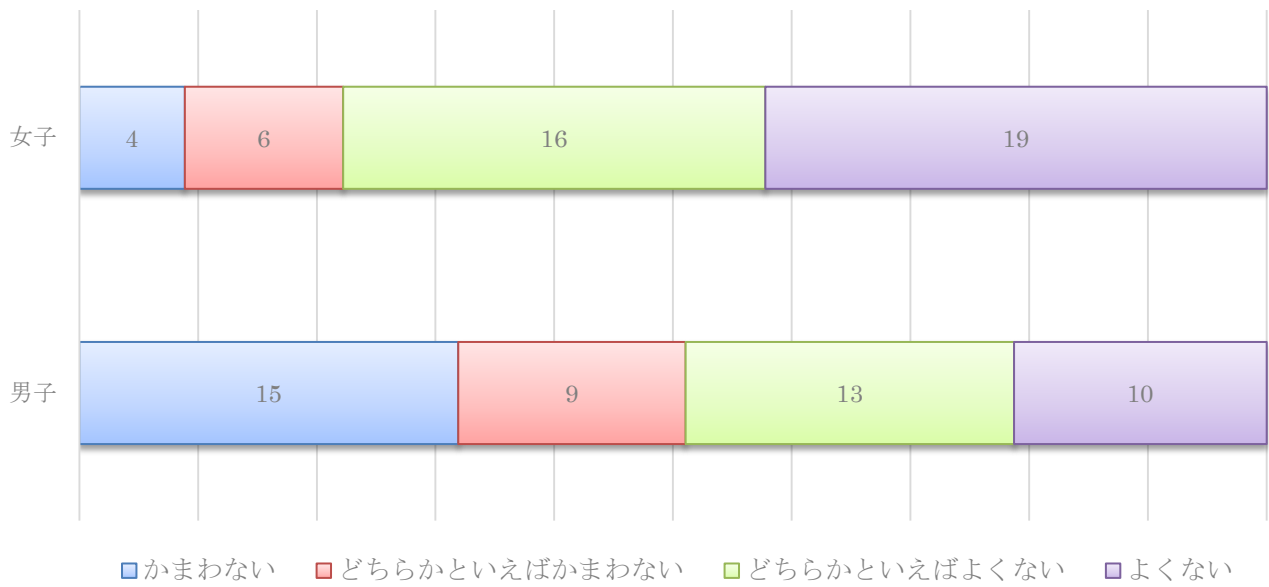


次のうちデートDVにあたるのはどれでしょう



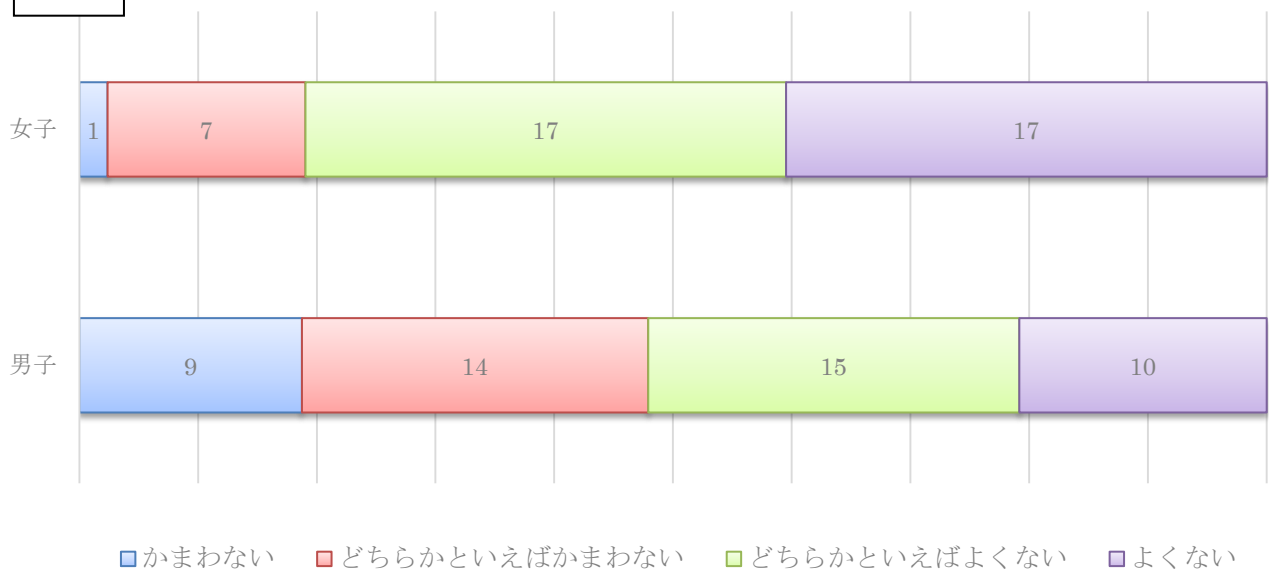
事前

中高生が性行為をすることをどう思いますか



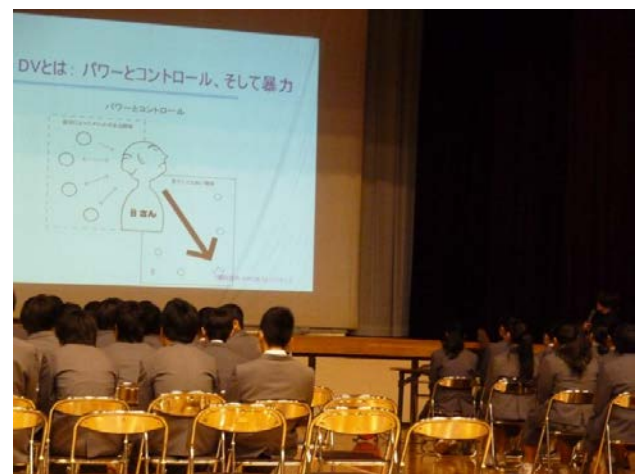
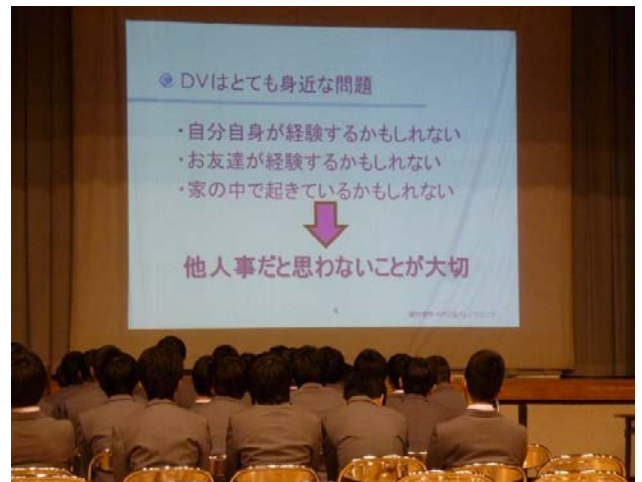
事後

中高生が性行為をすることをどう思いますか



「性の学習」 デートDV ～お互いを大切にする関係とは～

講演会の様子



第3学年〇組 技術・家庭科学習指導案

平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）第〇校時
第3学年〇組 男子〇〇人 女子〇〇人
指導者 〇〇 〇〇
場 所 被服室

1 題材名 将来親になるための学習「幼児への接し方を考えよう」

2 題材について

(1) 題材観

今日、科学技術の発展により、物質的には豊かで便利になってきている。家族の形態も多様化し、核家族化・少子化の影響を受け、家庭生活も変化してきている。それにともない、中学生が幼児と関わる機会も減少している。また、子どもの社会問題が増加しており、家庭の子育てのあり方に問題があるとの指摘も多く、実際に「家庭のサポート」を十分受けていない子どもたちも多い。こうした状況の中で、将来親となる中学生が、異世代である幼児への理解と関心を高め、幼児との触れ合い方を学習することは、非常に意義深い事と考え本題材を設定した。

(2) 生徒観

本校では、「幼児に興味・関心がある」と答えた生徒が34%と低い。家族や親戚、近所に幼児がいないと答えた生徒が多く、幼児と触れ合う機会が少ない現状がある。また、スマートフォンの保有率が高く、ラインやツイッターなどを通してのやりとりが多い。そのためか人間関係づくりが苦手なトラブルも起きている。

(3) 指導観

指導にあたっては、ロールプレイング（以下、ロールプレイ）を取り入れ、幼児の気持ちや親の立場になって考えられるようにした。また、自分の親の子育てしか経験したことのない生徒にとって、いろいろなタイプの親の子育て（接し方）を知り、よりよい接し方を考えるのは大変難しい。そこでグループで話し合いをすることにより、多様な幼児への接し方を学ぶことができると考えた。そして幼児への思いやりやより良い接し方を身につけ、次課題の「保育所（園）訪問」につなげたい。また、学習したことを自分のこれからの生活に生かすことができるように指導していきたい。

3 題材の目標

○幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、関わり方を工夫できる。

4 題材の具体的な評価基準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 想像する能力	生活の技能	生活や技能についての 知識・理解
・幼児と触れ合う活動などを通して、幼児に関心を持ち、適切にかかわろうとしている。	・幼児の心身の発達に応じた関わり方について観察したことを生かして考え、工夫している。	・幼児の遊びや発達と家族との関わりなどについて、観点に基づいて観察し整理することができる。	

5 本時の学習指導（本時1／2時間）

(1) 目標

- 実際に経験したことのない親の役割演技を行うことにより、親としての立場の理解を深め、同時に子どもの気持ちを理解する。〈関心・意欲〉
- 乳幼児期の親の養育態度が子どもの人格形成に大きく影響を与えていることに気付かせ、どのように関わればよいのかを考えさせる。〈関心・意欲〉

(2) 展開

学習過程	学習活動	時間	教師の働きかけ →働きかけの意図	評価と指導の工夫 () 評価の観点 { } 評価の方法 ◆評価基準 ◎十分満足 ○おおむね満足 △努力を要する	テーマとの関連
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が子どもの頃、親に理解されずに悲しい気持ちになったことはなかったか振り返る。 ○聞き分けがない子どもの対処に自分自身が困ったり、親が困っているのを見たことがあるか思い出してみる。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもは良い悪いの区別なく自己主張することがある。時には、親として子どもの行動を受け止めにくいこともある。そのような場面を生徒自身の経験の中から振り返らせる。 		
学習課題の把握	<p>学習課題 親の気持ちになって、子どもへのより良い接し方を考えよう。 「子どもがおもちゃを買ってほしいとねだっている時、どのように対応するか。」</p>				
ロールプレイの説明	<ul style="list-style-type: none"> ○事例を知り、親の対応の仕方として2つの対応の立場になったつもりで、それぞれの場面の親と子どものセリフを考える。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○事例を提示する。子どもがおもちゃを買ってほしいとねだっている。子：「ね～。あれ買ってほしいよ～。買ってよ～。」親：「 」 ○親の対応の仕方（態度）として、2つのタイプ「子どもの要求を受け入れる」「子どもの要求を受け入れない」立場から、各自で親子のセリフを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇親の立場になって子どもの接し方を考えようとしている。 <関心・意欲・態度> (ワークシート) 	個人
ロールプレイを行う	<ul style="list-style-type: none"> ○ロールプレイの方法を知る。 	20	<ul style="list-style-type: none"> ○演技者と観察者の役割決める。 ○演技者は首から「子ども」「親」「(父・母)」のイラストをもつ。 ○親のタイプ毎に時間を切り、各グループとも一斉に演技をする。 ○ロールプレイが終わったら生徒にそれぞれの立場で感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆親の働きかけが、子どもにどのような影響を与えるか考えようとしている。 <関心・意欲・態度> (ワークシート) 	集団
結果をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれのタイプから1～2つずつ選んでロールプレイを行う。 ○それぞれの立場でロールプレイをした時の感想を書く。 ○グループ毎に発表する。 ○他のグループのロールプレイを見て感じたこと（親の気持ち、子どもの気持ち）をワークシートに記入する。 ○親の態度が子どもの人格形成に影響することについて考える。 ○理想と思う親の対応とその理由を考える。 ○理想と思う親の対応を発表する。なぜそう考えるのかも発表させる。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○「親の態度と子どもの性格への影響」の説明図を見ながら、親の養育態度が子どもの人格形成にどのような影響を及ぼすか説明する。あくまでも傾向であることを伝える。 ○どんな対応が理想であるか考えさせる。 ○数名の生徒に理想と思う親の対応を発表させる。なぜそう考えるのかも発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇親の態度が子どもの人格形成に影響することについて気付く。 <関心・意欲> 	言語
まとめ	<p>学習のふりかえり (例)・ほしがるからと言ってすぐに与えず、我慢させることも大切。 ・子どもが納得するよう理由をしっかりと伝える。 ・優しさと厳しさのバランスをとる。 ・我慢できたら褒める。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふりかえり」を記入する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児期の子どもの接し方について、気付いたこと、感じたことを記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ロールプレイを通して、好ましい親の働きかけや態度について考えさせる。 <創意・工夫> (ワークシート) ◎よりよい親の働きかけについて理解してまとめることができる。 ○他の班員の発表を聞き、おおむね理解することができる。 △簡単な言葉の助言により理解する。 (ワークシート) 	個人 言語

幼稚園訪問の様子

～幼児とのふれあい体験～

